

自然災害から守れる私達の行動

あすみ

山梨英和中学校三年

池田

杏純

私の住んでいる地域は甲府盆地の中央に位

置れています。ですが、これほど土砂災害の被害は

経験はありません。ですが、いまの暮雨

や強風は教え切れないうちにはあります。山梨

は夏から秋にかけて、朝は晴れていても夕

方に天気が変わることも時々あり、特に学

校から帰るうとした時に、なぜか天気が急に

悪くなるイメージがあります。時によってほ

バケツをひっくり返したように、激しく雨が

地面に叩きつけるように降る時もありました。

また、小学生高学年の頃、雨が毎日降り続い

ていた日もありました。そのための学校で

は水溜りができ、校庭の水はけが悪いのか

膝まで水が溜まっていました。それが私が鹿

えていた石浸水に近い経験です。

最近、テレビでは毎年のように、夏から秋

にかけて、大きな自然災害が発生するニュース

を見て、一体なにが

スそみかけ、その被害を見て、

起こったのだらう」と身に向けて真剣に聞く
ことが多く存りました。今年も東北と北陸で
激しく雨が降り続け被害が多く、全国的に多
くなっていていゝるようなニュースを聞いて、私は
とても驚きました。先日、東北での災害の映像
を見てるだけでも自然は恐ろしいものだと
感じました。この雨は四年前に起きた西日本
豪雨に似ていました。西日本豪雨ではたか
さんの方々が七くなりましたことを覚えていま
す。私は東北と北陸での雨で死者や行方不明の
方が出ないようにと祈ることしか出来ません
でした。

自然災害は本当に恐ろしいものばかりです。
地震が起きて津波がきたり、雨が降って川が
氾濫したり、山が噴火することもあります。
これによつて、生活に大きな被害が出るこ
もあり、ます。自然災害は人の命や社会的活動
に被害が出てしまいます。学校や会社に行け
なくなつてしまつたり、祭りなど地域の活動
も無くなつてしまつたり、このように、このよ

ます。また、地震が起きた時に怪我をしない
よう、窓ガラスに飛散防止のフィルムを貼
たり、家具の転倒を抑えるために防止した
りするこどもも大切ですよ。私たちは学校に
いる時
間が短いことから、定期的に学校での
避難訓練
の活動も大切に真剣に考えるから行動し
体験していくこどもも重要です。

二つ目は温室効果が減らすために、ど
うしたらよいか真剣に考える必要があります。

日本の異常気象の原因は地球温暖化によるも
のと言われれています。調べてみると、一世帯

あたりでの二酸化炭素の原因は照明や家電製
品で約30パーセントで、自動車では約26パー

セント、暖房と冷房で約17パーセント排出さ
れているそうです。私たちは持続可能な生活

をしいかなければなりません。つまり持続
可能な開発目標のSDGsからできること

をしいかなければなりません。温室効果が
減らすことは難しいことかもしれませんが

身近に出来ることかSDGs

の中にはあります。電気を節電すること、
二酸化炭素排出を減らすことが出来ません。買
い物をするときにエコバッグを持ち歩くこと
でプラスチックを削減することができます。
今回、自然災害について調べて自分もいろ
いろなことを、再確認することが出来ました。
自然災害はいつどこ起きるかは何にも分か
らないことです。自分は大丈夫だという意識
を持っていても、抜けているところがあるこ
思います。でも、私たちは、備えることがぞ
き、心の準備をすることが出来ます。もし災
害が起こったとしても、冷静に判断をして素
早く行動していけるようにいつも準備してお
きたいと思います。自分の命や他の人の命を
守るために、お互いに助け合いながら行動に
移していきました。そして自然災害を少し
でも減らすことが出来るように、普段の行動か
ら私に出来ることを、これからもう考えていき
たいと思います。